

《さらなる安全性向上に向けた取り組みを進めています（第1回）》

昨年7月に「世界最高水準の安全レベル」を目指した、原子力発電所の新規制基準が施行されました。現在、女川原子力発電所2号機について、同基準に適合しているかどうか原子力規制委員会により審査されているところです。

当発電所は、今後とも、新規制基準への対応にとどまらず、さらなる安全性向上に向けて、地域の皆さまの安心につながるよう対策に万全を期してまいります。

「発電所だより」では、こうした取り組みについて複数回に分けて紹介していきます（随時掲載）。

継続的な安全性向上

【現在実施中の安全対策の一例】

➤ より厳しい条件を考慮した地震・津波対策



▲1000ガルの揺れを考慮した耐震工事の実施



▲建屋外周扉の水密化

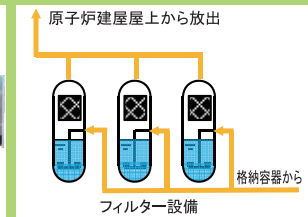


▲防潮堤を海拔約2.9m*へかさ上げ

➤ 重大事故対策



▲ガスタービン発電機の設置



▲フィルター付格納容器ベント設備の設置



▲免震重要棟の設置

➤ 訓練の継続的な実施や初動対応の強化

このほかにも様々な対策を実施する予定です

【緊急的な対策の一例（実施済み）】



▲防潮堤を海拔約17m*へかさ上げ



▲大容量電源装置の設置



▲電源車による電源確保策の整備



▲代替注水車の配備



▲送水車(代替海水ポンプ)の配備



▲訓練の強化

このほかにも様々な対策を実施しています

東京電力福島第一原子力発電所と
同様な事故を起こさない安全レベルを確保

発電所の特性と最新知見を反映したさらなる安全レベル

適合性

原子力規制委員会による審査

世界最高水準の安全レベルを目指した新規制基準（平成25年7月8日施行）

東日本大震災

女川原子力発電所は、原子炉を「止める」「冷やす」「放射性物質を「閉じ込める」が機能。安定した状態を維持

《女川町復幸祭2014が行われました》

3月16日、女川中学校を会場に「女川町復幸祭2014（主催：女川町復幸祭実行委員会）」が開催されました。

郷土芸能やヒーローショー、ゲストによる多彩なステージが繰り広げられました。また、無料で振る舞われた焼きサンマ3000匹や、地元飲食店がそれぞれ趣向を凝らした女川復幸弁当などに、来場者は舌鼓を打っていました。

当発電所が用意した当社キャラクター“マカプゥ”や、大型遊具「ふわふわマカプゥ」は、子どもたちに大人気でした。



《第4回「原子力のあり方に関する有識者会議」が開催されました》

3月4日、当社本店において第4回「原子力のあり方に関する有識者会議」が開催されました。

同会議は、原子力全般にわたる課題について、社外の有識者の方々から幅広くご意見やご助言をいただくことを目的に平成23年10月に設置したものです。委員は、原子力工学や防災・危機管理、放射線管理の専門家に加え、立地地域を代表する方など7人をお願いしています。

今回は「女川原子力発電所の安全性向上に向けた取り組みと2号機の新規制基準への適合性審査申請の概要」や「地域への情報提供・コミュニケーション活動」等をテーマに、当社経営陣との間で活発な意見交換が行われました。

委員の方々からは「原子力に関する資料は難解になりがちであるが、一般の方々向けに思いきって簡略化した分かりやすい資料を用いることも必要」「地域とのコミュニケーションにおいては、まず、地域の方々としっかりと向き合うことが重要」等のご助言をいただきました。

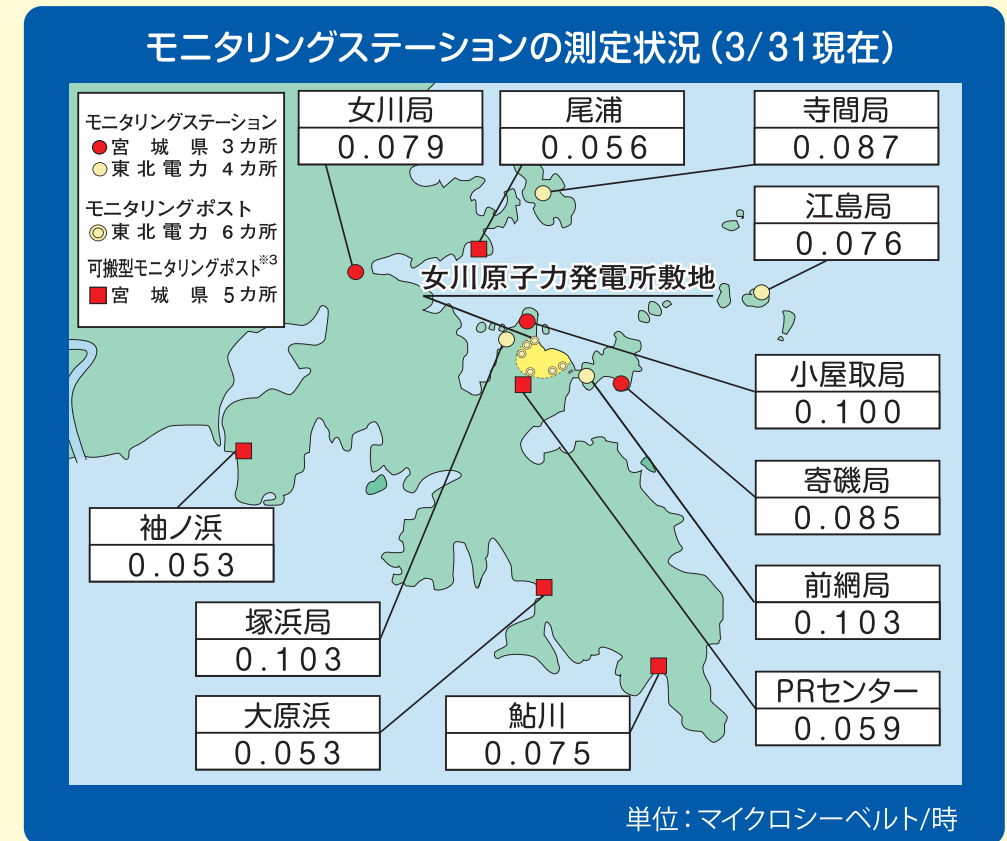
当社としては、こうしたご意見・ご助言を踏まえ、地域の皆さまとのコミュニケーション活動や企業コンプライアンスの充実など具体的な施策に反映してまいります。



《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.073マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、1年後、2年後、至近3カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

モニタリングポストの最小値と最大値

平成23年	3月11日	0.027～0.064
	3月13日	1.8～21※4
平成24年	4月1日	0.063～0.098
平成25年	4月1日	0.055～0.076
平成26年	1月1日	0.048～0.082
	2月1日	0.048～0.068
	3月1日	0.047～0.067
	3月31日	0.046～0.073

単位：マイクロシーベルト/時